

## 広島県告示第 620 号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和 48 年法律第 110 号）第 5 条第 1 項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第 4 項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成 24 年 7 月 17 日

広島県知事 湯 崎 英 彦

### 1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	大阪府大阪市旭区大宮五丁目 16 番 1 号 学校法人 常翔学園 理事長 坂口 正雄
工場又は事業場の所在地及び名称	東広島市黒瀬学園台 555-36 他 広島国際大学

### 2 申請の内容

71 の 2 イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 21 基を新設し、20 基の使用の方法を変更する。

#### (1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

##### (その 1) 新設

種	類	71 の 2 イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 3 基 (流し台 (3FN0. 21, 22, 23))	71 の 2 イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 1 基 (実習台 (教師用) (3FN0. 24))
	能力 ( 1 日 当 たり )	使用水量 0.04 m <sup>3</sup>	使用水量 0.02 m <sup>3</sup>
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに	許可後直ちに
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後約 2 週間	着手後約 2 週間
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに	完成後直ちに

使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時間断続 (なし)		8時間断続 (なし)		
		通常	最大	通常	最大	
使用 の 方 法	排出される汚水等の状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	3.0~9.0	3.0~9.0	3.0~9.0	3.0~9.0
		生物化学的酸素要求量	5	5	5	5
		化学的酸素要求量	15	20	15	20
		浮遊物質	8	10	8	10
		窒素含有量	30	50	30	50
		リン含有量	1	3	1	3
		ノルマルヘキサ ン抽出物質含有量	8	10	8	10
		溶解性マンガン 含有量	<0.1	0.5	<0.1	0.5
		クロム含有量	<0.1	0.5	<0.1	0.5
		六価クロム化合物	<0.04	0.1	<0.04	0.1
		アンモニア, アンモニ ウム化合物, 亜硝酸化 合物及び硝酸化合物	30	50	30	50
		大腸菌群数 (単位: 個/cm <sup>3</sup> )	50 以下	50	50 以下	50
		排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		0.1	0.12	0.015
汚水等の排出先		中和槽		中和槽		

(その2) 新設

種 類		71 の 2 イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 8 基 (学生実験台 (3FNO. 25~32))		71 の 2 イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 3 基 (流し台 (3FNO. 33, 34, 35))			
能 力 ( 1 日 当 たり )		使用水量 0.04 m <sup>3</sup>		使用水量 0.04 m <sup>3</sup>			
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに			
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後約 2 週間		着手後約 2 週間			
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに		完成後直ちに			
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8 時間断続 (なし)		8 時間断続 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大	
	排出される汚水等 の状態	水素イオン濃度 (単位 : 水素指数)		3.0~9.0	3.0~9.0	3.0~9.0	3.0~9.0
		生物学的酸素要求量		5	5	5	5
		化学的酸素要求量		15	20	15	20
		浮遊物質 量		8	10	8	10
		窒素含有量		30	50	30	50
		リン含有量		1	3	1	3
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量		8	10	8	10
		溶解性マンガン含有量		<0.1	0.5	<0.1	0.5
		クロム含有量		<0.1	0.5	<0.1	0.5
		六価クロム化合物		<0.04	0.1	<0.04	0.1
		アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物		30	50	30	50
大腸菌群数 (単位 : 個 / cm <sup>3</sup> )		50 以下	50	50 以下	50		

排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )	0.24	0.32	0.09	0.12
汚水等の排出先	中和槽		中和槽	

(その3) 新設

種 類	71の2イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 5基 (流し台 (3FNO.36~40))		71の2イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 1基 (ドラフトチャンバー (3FNO.41))				
能力 (1日当たり)	使用水量 0.04 m <sup>3</sup>		使用水量 0.02 m <sup>3</sup>				
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	着手後約2週間		着手後約2週間			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに		完成後直ちに			
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時間断続 (なし)		8時間断続 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大	
	排出される汚水等	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		3.0~9.0	3.0~9.0	3.0~9.0	3.0~9.0
		生物化学的酸素要求量		5	5	5	5
		化学的酸素要求量		15	20	15	20
		浮遊物質		8	10	8	10
		窒素含有量		30	50	30	50
		リン含有量		1	3	1	3
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量		8	10	8	10
		溶解性マンガン含有量		<0.1	0.5	<0.1	0.5
クロム含有量		<0.1	0.5	<0.1	0.5		

	六価クロム化合物	<0.04	0.1	<0.04	0.1
	アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	30	50	30	50
	大腸菌群数 (単位: 個/cm <sup>3</sup> )	50 以下	50	50 以下	50
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )	0.18	0.2	0.015	0.02
	汚水等の排出先	中和槽		中和槽	

(その4) 変更

		変更前		変更後	
種類		71の2イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 1基 (教師用流し台付き実験台 (2FN0.1))			
能力 (1日当たり)		使用水量 0.21 m <sup>3</sup>		使用水量 0.15 m <sup>3</sup>	
工期等	工事着手予定年月日	既設		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日			工事着手後直ちに	
	使用開始予定年月日			完成後直ちに	
使用の方法	項目	通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )	0.19	0.21	0.14	0.15

(その5) 変更

		変更前		変更後	
種類		71の2イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 9基 (学生用流し台付き実験台 (2FN0.2~10))			

能力 ( 1 日 当 た り )		使用水量 0.21 m <sup>3</sup>		使用水量 0.18 m <sup>3</sup>	
工期等	工事着手予定年月日	既設		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日			工事着手後直ちに	
	使用開始予定年月日			完成後直ちに	
使用の方法	項 目	通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )	1.7	1.89	1.53	1.62

(その6) 変更

		変 更 前		変 更 後	
種 類		71 の 2 イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 4基 (流し台 (2FN0.11, 12, 15, 3FN0.17))			
能力 ( 1 日 当 た り )		使用水量 0.22 m <sup>3</sup>		使用水量 0.18 m <sup>3</sup>	
工期等	工事着手予定年月日	既設		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日			工事着手後直ちに	
	使用開始予定年月日			完成後直ちに	
使用の方法	項 目	通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )	0.8	0.88	0.68	0.72

(その7) 変更

		変 更 前		変 更 後	
--	--	-------	--	-------	--

種 類		71 の 2 イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 3基 (流し台 (3FNO. 16, 4FNO. 19, 20))			
能 力 ( 1 日 当 た り )		使用水量 0.22 m <sup>3</sup>		使用水量 0.18 m <sup>3</sup>	
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	既設		許可後直ちに	
	工 事 完 成 予 定 年 月 日			工事着手後直ちに	
	使 用 開 始 予 定 年 月 日			完成後直ちに	
使 用 の 方 法	項 目	通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )	0.59	0.66	0.51	0.54

(その8) 変更

		変 更 前		変 更 後	
種 類		71 の 2 イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 1基 (流し台 (4FNO. 18))			
能 力 ( 1 日 当 た り )		使用水量 0.22 m <sup>3</sup>		使用水量 0.18 m <sup>3</sup>	
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	既設		許可後直ちに	
	工 事 完 成 予 定 年 月 日			工事着手後直ちに	
	使 用 開 始 予 定 年 月 日			完成後直ちに	
使 用 の 方 法	項 目	通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )	0.20	0.22	0.11	0.18

(その9) 変更

		変 更 前		変 更 後	

種 類		71 の 2 イ 科学技術に関する研究の用に供する洗浄施設 2 基 (ドラフトチャンバー (2FN0.13,14))			
能 力 ( 1 日 当 た り )		使用水量 0.13 m <sup>3</sup>		使用水量 0.055 m <sup>3</sup>	
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	既設		許可後直ちに	
	工 事 完 成 予 定 年 月 日			工事着手後直ちに	
	使 用 開 始 予 定 年 月 日			完成後直ちに	
使 用 の 方 法	項 目	通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m <sup>3</sup> )	0.23	0.26	0.1	0.11

(2) 汚水等の処理の方法

変更なし

(3) 排出水の汚染状態

変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成24年7月17日から平成24年8月7日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部東厚生環境事務所環境管理課並びに東広島市生活環境部環境対策課